

# 緑の宝



2010  
新年号  
No.50



第4回富士山百景写真コンテスト 入賞作品「花筏」安達克雄 写真提供:富士市

## 目 次

会長挨拶	P2
知事挨拶	P3
委員会だより(啓発労働委員会)	
都市緑化講演会	P4
委員会だより(啓発労働委員会)	
各支部の安全バトロール概要	P5
委員会だより(技術委員会)	
協会型壁面緑化モデル事業が始動	P5
支部だより(東部支部)	
造園業における電子納品～知識・技能講習会～	P6
支部だより(西部支部)	
若年従業員研修旅行に参加して	P6
景観賞の授与	
第2回静岡県景観賞表彰式で静岡県造園緑化協会賞を授与	P7
建設産業構造改善推進の集い	
静岡県知事顕彰授与	P8
静岡県建設業労働災害防止大会	
建設業労働災害防止協会静岡支部長表彰授与	P8
枝付だより	
将来に向かって	P9
視察旅行感想	P9
報道機関	地球環境室
	「第4回しおか環境・森林フェアの開催」…P10
保森林業 森林計画室	
	平成24年秋 全国育樹祭を開催します…P10
県都市民 公園栽培室	
	「県営吉田公園のキューリップに関する取り組み」…P11
景観整備機構コーナー	
県農林業局 みかん園芸室	
	「花咲くしおか」運動県民大会を開催しました…P12
中国視察研修団 来静	
	～近代和風建築「古籠荘」を興味深く巡る～…P12
安全第一 なによりも優先	
	～掛川市シルバー労働安全講習会～…P14
緑・花試験 終了しました!	
	…P15
おしゃらせ	
	平成22年新年賀詞文歎会((社)静岡県造園緑化協会)…P15
第31回(社)静岡県造園緑化協会通常総会…P15	
協会日誌	
話題の森	
	浜松モザイカルチャー世界博2009が閉幕
	～人と自然のシンフォニー～…P16

題字／乗松文男氏



(社)静岡県造園緑化協会会長  
片桐 利男

## 新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には新年の希望も新たに健やかな年を迎えるられることとお慶び申し上げます。

また日頃から当協会の運営に当たりましては多大な御協力をいただき心より厚くお礼申しあげます。

さて、本年も相変わらず業界を取り巻く環境は依然として厳しく、昨年末の政府の方針で今年度は公共工事の削減等が取り沙汰されており、以前にも増しての大変な年になろうかと憶測される年明けとなりました。「お忙しいですか。いや一暇ですなー。何とかなりませんか」と交わす言葉が日常の挨拶代わりになっているような昨今であります。が、今年こそ、この挨拶言葉が逆になるような明るい話題の兆しが見えます。

昨年は浜松市において「モザイカルチャーワールド」が開催され、目標を

超える大勢の人達が訪れ、世界各国から出品された花と緑の造形美に

感動され、出品作品の保存を願う声も聞かされ、その関心の高さに我々に携わっている業界にとても明るく喜ばしい話題で、昨今の暗い状況の中、大きな希望を与えてくれました。多くの人達の生活の中に安らぎと潤いをもたらす環境緑化に自信と希望をもつて、進んでまいりたいものであります。

社会全般の不況による仕事量の著しい減少、この苦難の時期こそ全員が力を合わせ、英知をしほり、発想の転換を計り温室ガス削減により地球温暖化防止対策において絶対に欠くことのできない緑化の必要性を強く訴えて参らねばならないと思います。

屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化等県内ではまだ施工例が少なく、この新緑化工法は今後において期待の持てる分野と思われます。このように掘り起こせば新緑化工事はどこかに潜んでいるのではないでしょうか。環境緑化に対して、専門的技能を有する我々は一層の緑化技術の研鑽に励み、その技能を存分に發揮して参りたいものであります。常に前向きで少しばかりつまずいたうですぐに立ち上がる勇気を持つて突き進んでいこうではありませんか。

今年の干支は寅であります。猛虎の如く強く逞しく生き抜いて行こうではありませんか。

今後とも、皆様方の御支援と御協力を重ねてお願い申し上げ、今年一年の皆様方の御多幸と益々の御繁栄を祈念いたしまして新年の挨拶といたします。



静岡県知事

川勝 平太

## 新年のあいさつ

新年 明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、それぞれ新年の抱負も新たに、すがすがしい年を迎えたこととお慶び申し上げます。また、日ごろから本県の環境緑化行政の推進に多大なる御尽力をいただき、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年6月には富士山静岡空港が開港し、国内外から多くの方が本県を訪れています。このような中、都市に緑の空間を増やし、美しい景観を形成することは、県民に快適な生活環境を提供するだけではなく、本県を訪れる皆様にもうるおいとやすらぎを与え、本県の魅力を一層高めるものであります。また、最近では、街の緑が、都市の気温上昇を抑制したり、身近な二酸化炭素の吸収源となるなど、地球温暖化防止対策にも貢献していることが広く認識されるようになり、建物の屋上緑化や壁面緑化、学校校庭の芝生化など新たな取り組みにも関心が集まっています。

県といたしましては、「富国有徳の理想郷、ふじのくに」の実現に向け、県民の暮らしに緑を取り入れ、緑と調和した生活環境の創造を促進してまいりたいと考えております。そのためには、専門技術を有する貴協会のお力添えが特に必要でありますので、是非御協力いただきまますようお願い申し上げます。

静岡県は、世界文化遺産を目指す日本一の富士山はもとより、伊豆の自然、駿河の文化、遠州のものづくりといった多様な地域性が生み出す魅力的な「場の力」を秘めております。県では、県民の皆様とともに、こうしたすばらしい方にさらに磨きをかけ、「住んでよし、訪れてよし、働いてよし、学んでよし」の「富国有徳の理想郷、ふじのくに」をつくるよう、様々な施策に取り組んでいるところであります。

結びに、今後とも、県政に対する皆様の御理解と御協力をお願い申上げますとともに、貴協会のますますの御発展を心よりお祈りし、新年の「あいさつ」といたします。●

# 委員会だより（啓発労働委員会）

## 都市緑化講演会

～都市公園を活かすため

何をどうしたらよいか再び考えてみたい～

都市公園の利用形態は時代の経年変化から、利用する県民の満足度を十分満たす状況となっているかどうか再確認をする必要が生じている。これからは公園周囲の住宅事情の変化や防災避難地等の社会的要請等に対する公園施設、植栽樹種、管理方法などを検証し、必要に応じて再整備に対する提案をしていくことが課題と考える。今年度は公園の利用の仕方に視点を置いて、都市部の緑化空間の自然生態系と文化的話題を提供して良質な都市緑化への理解を深めることとした。



熱心に聴き入る参加者

「社団法人静岡県造園緑化協会」「財団法人静岡県グリーンパンク」「静岡県さくらの会」は11月22日(日)、静岡県産業経済会館(静岡市葵区追手町)において「都市緑化講演会」を開催した。公園管理関係者、一般県民、行政関係者、造園業界関係者ら約80人の聴衆を前に、国立科学博物館名誉研究員の近田文弘氏が「自然観察の楽しみ方・皇居の自然」を、(株)インブル顧問の野口英昭氏が「地域に根ざした植物方言」と題して講演を行った。



皇居の自然を紹介する近田文弘氏

近田文弘氏は都市緑化空間の自然の特徴を山奥の自然と違ひ人工的な自然、むしろ人の手が入った新しい自然のある空間であるとした。また自然生態系の特徴は開放的な空間と閉鎖的な空間が対になっており、自然生態系が自然環境と人間活動の強い相互作用で成り立っている。そこには自然の魅力に加え、文化的または歴史的な魅力があると前段を述べられた。その後、都市緑化空間の自然観察の楽しみ方を遠景と中景、自然樹形、植物生理、樹木間の競争などの例をあげて観察上の魅力を披露し、聴衆の興味を誘った。そしてご自身による長い間に撮り貯めた新宿御苑や皇居の東御苑、吹上御苑の普段見られない貴重な映像をスライドで紹介し、食い入るように聞き入っていた参加者は時間を忘れた。

野口英昭氏は静岡県の

ほぼ全域を網羅した木々の名の呼び方の違いを永年に亘って克明に調査され、7500種あまりにのぼる植物方言のデータを踏まえて、身近にある個々の木々を例に出して具体的に紹介した。「ひさかき」の枝を実際に持ち込んで聴衆に示し、駿河地方では「アクシバ」、遠州地方では「キサカキ」、大井川上流では「イヌサカキ」と紹介したほか、「イヌマキ」を伊豆半島地方では「アスナロ」と呼ぶが、方言の違いによるトラブルの事例などを交えて聴衆を和ませた。また、造園業界名として通用している「ポーガシ」「ニッコウヒバ」「スイリュウヒ」は、それぞれ「アラカシ」「シノブヒバ」「ヒヨクヒバ・イトヒバ」のことであるなども紹介した。植木市で見かける新しい呼び名の植物の見極めも付いた気がする。それにしても、木の方言もれっきとした「木の文化」である。木の名を呼称する方の出身地がひとつしたら分かることかもしれない。



植物の「方言」のあれこれを披露する野口英昭氏

## (啓発労働委員会)

### 各支部の安全パトロール概要

平成21年度での実施状況は以下の通りです。幸い建設業関連は皆様の努力のおかげをもって、死傷者は減少傾向にあります。今年度も無事故で事業が完了できますよう皆様のご協力を願います。



安全パトロール(中部支部)

区分	東部支部	中部支部	西部支部
実施時期	第1回 平成21年11月24日 沼津市特養ホーム 第2回 予定 4か所	第1回 平成21年11月20日 清水区大田切公園 第2回 平成21年11月20日 清水区とめだ東公園	第1回 平成21年8月21日 浜松市 〈浜松モザイカルチャー世界博2009〉
内 容	<p>【緑化工事】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全関係書類確認</li><li>・高所作業状況確認</li><li>・現場安全対策状況確認 等</li></ul>	<p>第1回【インターロッキング工】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全関係書類確認</li><li>・機械、機器類検査点検状況確認</li><li>・現場安全対策状況確認</li><li>・交通制限等状況確認</li></ul> <p>第2回【樹木剪定工】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全関係書類確認</li><li>・高所作業状況確認</li><li>・現場安全対策状況確認</li><li>・交通制限等状況確認</li></ul>	<p>【モザイカルチャー建設】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全関係書類確認</li><li>・高所作業状況確認</li><li>・現場安全対策状況確認</li></ul>

## (技術委員会)

### 協会型壁面緑化モデル事業が始動



地球温暖化対策や省エネルギー対策の一助となる壁面緑化が始動します。

壁面緑化モデルの設置場所が静岡市駿河区にあるSBS静岡放送局の2階ガラス壁面に設定されることとなりました。平成21年11月13日に技術委員と会員応募者との合同検討会を開催し、協会の意見を盛り込んだ協会型モデルを目指すこととして議論を深め、基本構造に関する合意を得るに至りました。

次回検討会は、平成21年12月17日に壁面材料、鉢(プランター)、植栽樹種、土壌、施工体制などを決定する予定。実施工程が明確になりましたら、施行中に会員の皆様に現地視察をして頂きたいと考えています。南東面の強い日差し対策に頼る報となることを期待しているところです。

#### 【構造概要】

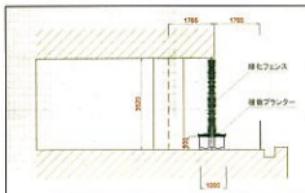
壁面方位:南西 壁面積:57.05m<sup>2</sup> (16.3m × 3.5m)

緑化壁面のセンターはガラス壁面から1.75mを離した庇の先端位置  
植栽基盤の鉢はF R P プランター(2000×1000×500)を連結

緑化壁面はプランターのセンターに設置する。

壁面の両面に植栽を考える。(樹種、間隔はさらに検討していく)

効果調査は平成22年度事業で行う。



# 支部だより（東部支部）

## 造園業における電子納品

～知識・技能講習会～

（株）大松園 渡井清視

平成21年度東部支部 知識・

技能講習会「造園業における電

子納品の動向について」が平成

21年11月18日（水）14時から沼

津のブケ東海に於いて開催され

ました。

まず最初に渡井支部長より、

「これから電子技術はどんどん進歩していくので苦手にせざ

ん知識として身につけていくて欲しく」と挨拶がありました。

知識・技能講習会会場



挨拶する渡井支部長

管理の作り方や電子納品支援システム、図面CADについての説明を受けました。

今回の講習は初步的であったため、実際に電子納品を行った

経験の有る方には物足りなかつたかもしれません。でもこれからも電子納品には良いソフトと良い機械とそれを使いこなせる

良い頭脳が必要なようです。●

## （西部支部）

### 若年従業員研修旅行に参加して

（株）片桐造園建設 西川裕輝

11月19日に西部支部恒例の

若年従業員研修旅行に会社の同僚と二人で参加させていた

だきました。貸切バスで袋井より早朝の出発となりました。久し振りのバス旅行でしたので大変うれしく心も弾みました。

目的地は岐阜県の高山市でした。参加者全員が乗車し少し走り出したところで、高林支部長さ

たは回転等も編集とみなされることがあるので気をつけてください。

や大きさ撮影モードの選択についての注意点を聞き、写真データは回転等も編集とみなされ

た。参加者全員が乗車し少し走り出したところで、高林支部長さ

んより挨拶があり、造園業界は今大変厳しい現状下にあります、これから業界を担っていく世代の皆さんには困難に打ち勝つて頑張って下さい」と励まされました。●

また、（株）アイティエス営業技

術部の石上氏より実際に電子納品ソフトを立ち上げて写真



若年従業員研修に参加した西部支部一行

ではこの時期には見られない光景を見る事が出来ました。高山市に到着し名物の朝市を先ず見学に行きました。地元の産物等が一杯並べられており、大きな掛け声でお客さんと接しておりました。午後からは自由行動でした。小京都と呼ばれるに相応しい古い街並を散策し、文化遺産のようなこの街並はいつまでも残ってほしいものだと思います。同行した社長の説明を聞きながら銀杏の大木を見学し、見事に黄金色に輝く大木を見上げ思わず感嘆の声をもらしました。途中に見事に手入れされた赤松に出会い、その技術の高さに社長よりしつかり見て手入れ勉強するようと言わされました。高山祭りで有名な山車が設置されているお祭り会館等も見学して思い出一杯に古い美しい街並の高山市を後に帰路につきました。日帰り旅行でしたが、これからの仕事の為に勉強することが出来ました。又このような機会がありましたら是非参加させて頂き勉強して行きたいと思いました。本当に有難うございました。●

## 景観賞の授与

### 第2回静岡県景観賞表彰式で静岡県造園緑化協会賞を授与



景観賞表彰会場

美しいしづおか景観推進協議会(社)静岡県造園緑化協会加入は11月20日、静岡市駿河区の「あざれあ」で第2回静岡県景観賞表彰式を開催し、応募総数88件の中から最優秀賞1地区、優秀賞8地区を表彰した。景観賞は人が守り、育て、創ることによって優れた景観の形成が行われているもので、良好な景観形成に功績のあった個人又は団体に贈られる。今回の最優秀賞(知事賞)は「地域や自然との共生空間「矢崎総業Y-Town御殿場」が選ばれ、優秀賞には(社)静岡県造園緑化協会賞の「浅羽一万石」の原風景(梅山)」(袋井市ほか7地区)が受賞した。

各個人、団体にそれぞれ賞状と記念品が手渡され受賞者のたゆまぬ努力を称えた。その後、川口宗敬氏(静岡文化芸術大学大学院デザイン研究科長委員として参加)で都合4回にわたる現地調査を実施し審査した。

表彰式では受賞された



(社)静岡県造園緑化協会賞を授与する片桐会長



「最優秀賞」の「地域や自然との共生空間「矢崎総業Y-Town御殿場」」

美しさの「しづおか景観推進協議会

」(社)静岡県造園緑化協会加入は11月20日、静岡市駿河区の「あざれあ」で第2回静岡県景観賞表彰式を開催し、応募総数88件の中から最優秀賞1地区、優秀賞8地区を表彰した。景観賞は人が守り、育て、

創ることによって優れた景観の形成が行われているもので、良好な景観形成に功績のあった個人又は団体に贈られる。今回の最優秀賞(知事賞)は「地域や自然との共生空間「矢崎総業Y-Town御殿場」が選ばれ、優秀賞には(社)静岡県造園緑化協会

賞の「浅羽一万石」の原風景(梅山)」(袋井市ほか7地区)が受

賞した。

各個人、団体にそれぞれ賞状と記念品が手渡され受賞者のたゆまぬ努力を称えた。その後、川口宗敬氏(静岡文化芸術大学大学院デザイン研究科長委員として参加)で都合4回にわたる現地調査を実施し審査した。

表彰式では受賞された

美しいしづおか景観推進協議会(社)静岡県造園緑化協会加入は11月20日、静岡市駿河区の「あざれあ」で第2回静岡県景観賞表彰式を開催し、応募総数88件の中から最優秀賞1地区、優秀賞8地区を表彰した。景観賞は人が守り、育て、創ることによって優れた景観の形成が行われているもので、良好な景観形成に功績のあった個人又は団体に贈られる。今回の最優秀賞(知事賞)は「地域や自然との共生空間「矢崎総業Y-Town御殿場」が選ばれ、優秀賞には(社)静岡県造園緑化協会賞の「浅羽一万石」の原風景(梅山)」(袋井市ほか7地区)が受賞した。

各個人、団体にそれぞれ賞状と記念品が手渡され受賞者のたゆまぬ努力を称えた。その後、川口宗敬氏(静岡文化芸術大学大学院デザイン研究科長委員として参加)で都合4回にわたる現地調査を実施し審査した。

表彰式では受賞された

美しいしづおか景観推進協議会(社)静岡県造園緑化協会加入は11月20日、静岡市駿河区の「あざれあ」で第2回静岡県景観賞表彰式を開催し、応募総数88件の中から最優秀賞1地区、優秀賞8地区を表彰した。景観賞は人が守り、育て、創ることによって優れた景観の形成が行われているもので、良好な景観形成に功績のあった個人又は団体に贈られる。今回の最優秀賞(知事賞)は「地域や自然との共生空間「矢崎総業Y-Town御殿場」が選ばれ、優秀賞には(社)静岡県造園緑化協会賞の「浅羽一万石」の原風景(梅山)」(袋井市ほか7地区)が受賞した。

各個人、団体にそれぞれ賞状と記念品が手渡され受賞者のたゆまぬ努力を称えた。その後、川口宗敬氏(静岡文化芸術大学大学院デザイン研究科長委員として参加)で都合4回にわたる現地調査を実施し審査した。

表彰式では受賞された

## 建設産業構造改善推進の集い

### 静岡県知事顕彰状授与



大会会場風景

静岡県と(社)静岡県建設産業団体連合会が10月29日に静岡労政会館で「建設産業構造改善推進のつどい」を開催した。「つどい」では第17回静岡県優秀施工者知事顕彰状の授与式、及び富士教育訓練センターの専務理事 菅井文明氏による「建設業若年者確保育成の力ぎ」と題する講演会が催された。

優秀施工者知事顕彰状授与式では、当協会から推薦した鶴雅夫氏(掛川市)が優秀な技術を発揮し公共緑化工事等において高い評価を受けおり、また社外においても住宅メーカーの社員に対する現場実習指導を行うなど施工技術の向上に普及尽力する姿は他の建設従事者の模範となっているとして受賞した。

菅井文明氏による講演「建設業若年者確保・育成の力ぎ」



(株)浮月園  
太田 雅夫氏(掛川市)



みどり園(株)  
高林 智宏氏(浜松市中区)  
【功績賞】

「安全表彰」では当協会から推薦した駿河緑地造成(株)

では、若年の労働意欲が低下傾向にあり、「労働とは何か」から教えなければならない。また、建設業に対する旧態以前のイメージを変える必要があるほど

かんづくりには評価と待遇の改善が必要など、若年労働者確保・育成にあたって示唆に富んだ内容であった。

## 静岡県建設業労働災害防止協会静岡県支部長表彰授与



駿河緑地造成(株)  
中西 茂氏(清水区)  
【事業場賞】

### 平成21年度 静岡年末年始無災害運動

運動期間：平成21年12月1日～平成22年1月15日

目配り 気配り 危険予知  
無事故で 笑顔で 年末年始

▲重点実施項目▼

\* 緊急トッピングによる安全運営先の決済未払と現場運送リカウントシステムの実装とリスクの削減措置の実施  
\* 建設設備の点検後と作業終了時の見直し  
\* 改正交通事故防止ガイドラインに基づく対策の検証  
監視・駐車・灾害対策の徹底



(清水区)【事業場賞】、「功績賞」ではみどり園(株)の大林智宏氏(浜松市中区)、(株)大松園の渡井清視氏(富士市)らが

地道な労働安全衛生活動を通じて他の建設従事者の模範となつているとして受賞した。



(株)大松園  
渡井 清視氏(富士市)  
【功績賞】

# 技士会だより

## 将来に向かつて

静岡県造園施行管理技士会会長 望月敦彦



若い頃は外国に一度

行って日本庭園をつくり

みたいと夢みた事もあり

ました。先輩達も外国の

都市での植物や景石の調

達やらの雑誌等も見なが

ら胸をふくらました時期

NH Kが2日がかりで

スーパーコンピューター

にて地球の2000年先の

データーをとったところ、

アマゾンの熱帯雨林が砂

漠化するという答えを出

した事はまさに驚異であ

り、地球の危機であると

思います。

また、仮説として別の

科学者は2012年12

月には宇宙の彼方より到

達する電磁波におわれ

て生の尊さ、はかなさ、

敬しさを体験し感じ取る

事が大切です。森が滅つ

たとか、沼がなくなつたと

か、動物がかわいそそうと

いう前に私達が将来に向

かって生きる為に今すぐ

路城の優雅さに比べて何

と無骨なとか。『白鷺

城』に対比して、真っ黒な

城であります。

そこで国宝、松本城だ。

同じ四大名城の一つ、姫

城であります。

入つて急な階段を

上り武士達

が詰めていた

部屋の格子

窓に触れれ

ば、ふと戦乱

が、今回も最後は目

頭が火傷するほど熱

はお馴染みであろう

バスでの福岡南蔵

院の林住職のDVD

だ。當連の参加者に

様にと生き残る決意

を新たにする。

我々企業戦士も時

代に飲み込まれない

の世界同時不況、迷走す

る日本経済の亂世の中、

## 視察旅行感想

何年ぶりかの技士会の

視察旅行に参加した。今

回、信州は小布施のオーブンガーデン、重要伝統

建造物群の海野宿、獨股

山前山寺等を視察した。

小布施の個人所有の善意

見せててくれる個人庭園

と、情緒あふれる街並み

の散策はメタボリックな

腹を多少引き締め、血糖

値を安定させるには十分

であった。

そして国宝、松本城だ。

同じ四大名城の一つ、姫

城であります。

入つて急な階段を

上り武士達

が詰めていた

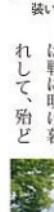
の世に想いを



海野宿の街並



松本城を背にする参加者



の者が志半ばに討ち死にした。現在は百年に一度

が、今回も最後は目

頭が火傷するほど熱

くなつた。

が詰めていた

部屋の格子

窓に触れれ

ば、ふと戦乱

は戦に明け暮

れて、殆ど

## 「第7回しづおか環境・森林フェアの開催」

去る十月二十三日から二十五

日の三日間、静岡市駿河区のツインメッセ静岡において、「第7回しづおか環境・森林フェア」が開催されました。初日の開会式では、県副知事のあいさつの後、県議会議長の祝辞をいただ

いての幕開けとなり、来場者は一万六千人を超える盛況なものとなりました。

御出展、御協力いただいた企業・団体等の方々には、厚く御礼申し上げます。

このイベントは、「いま考えよう環境のこと・森のこと」をテーマに、地球温暖化防止対策や循環型社会の構築を目的に開催され、今話題の太陽光発電や風力発電などの新エネルギーといった最新の環境技術や、日々の生活から切り離せない廃棄物やリサイクル、



第7回しづおか環境・森林フェア

また、自然環境を含めた森林・農業など幅広い分野に渡る93

ブースの展示が行われました。

また、今回は環境対策が新たな産業振興と人に優しい社会の実現に関連が深いことから、同じ会場内で「しづおか新産業技術フェア2009」と、ユニバーサルデザインの展示会の「しづおかUDプラザ2009」を同時に開催しました。



平成24年第50回全国植樹祭  
天皇陛下のお手植え

平成24年秋に第36回全国育樹祭を本県で開催することになりました。全国育樹祭の開催は、本県では初めてのことです。

全国育樹祭は、皇族殿下をお迎えし、森林を守り、育てることの大切さを伝えるための国民的な緑の祭典です。

全国育樹祭と並ぶ緑の二大祭典として、全国

植樹祭があり、本県では、これまでに二度開催しています。昭和27年の第3回全国植樹祭は、戦中戦後の大量伐採により荒

で見られる生き物の変化を展示しました。また、家庭の中でエネルギーがたくさん使われている水まわりの省エネ節約の技

を紹介、さらに、それぞれのブースの展示を通じて地球にやさしい暮らしに関する効果的なP

Rができたと考えています。

今回の開催状況を踏まえ、次回開催に向けて企画の充実も

図つてまいりますので、関係機関・団体等の皆様におかれましては今後とも、変わらぬ御協力を

お預り申上げます。

- 問合せ先 静岡県地球環境室
- 電話 ○五四一三二二三七八一



平成21年第33回全国育樹祭(長崎県)  
皇太子殿下のお手入れ

## 平成24年秋 全国育樹祭を開催します

二度の全国植樹祭を通して育成してきた本県の森林は、現在、木材として活用できる時期に達しています。このため、全国育樹祭では充実した森林資源の活用をアピールし、森林と県民の共生」をより一層進めたいと思います。

全国育樹祭の開催が、実りあるものになるよう準備を進めていきたいと考えています。全国育樹祭の開催が、実りあるものになるよう準備を進めていきますので、協会会員の皆様の御支援、御協力をお願いします。

- 問合せ先 静岡県森林計画室
- 電話 ○五四一三二二六六六

## 「県営吉田公園のチューリップに関する取り組み」



### みどりのおたより

県営吉田公園は、「自然に親しみながら、レクリエーションや憩いの場として、高齢者、身障者子ども達が安心して利用できる公園を目指す。」ことを目的として設置されました。大井川河口の右岸にあり、供用開始は平成13年8月で、供用面積は14.3ヘクタール、主な施設としては研修施設や体験学習工房を備えた「ヒーリングコア」、様々なスポーツや遊びができる

チューリップ植栽イベントの様子

当公園の指定管理者である特定非営利活動法人しづかちゃんが公募した約400名の方々が3時間かけて芝生広場の花壇に5万球の球根を植栽しました。このイベントの後には、さらに5万球の球根がボランティアや地元高校生、公園職員の手によつて園内各所に植栽され、合計10万本のチューリッ

「芝生広場」、大井川周辺の自然を再現した「ピオトープ池」、車椅子の方でも草花を植えることができる高床式花壇(レイズドベッド)を備えた「やすらぎの庭」などがあります。

この公園で、去る11月28日、チューリップ植栽イベントが開催されました。

リップまつり」の際に、赤や黄、白など様々な色で咲き、来園者の目を楽しませてくれることになります。

「チューリップまつり」は、



「チューリップまつり」時の開花状況

## 景観整備機構コーナー

今年度の実施計画に添って協会本部が行って来たこれまでの活動を紹介します。  
このほかに各支部が実施した実績については次号以降にお知らせします。

項目	内 容
みどりの相談所	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜名湖フラー&amp;ガーデンフェア2009の相談所開設（5月 浜名湖ガーデンパーク 9件）</li> <li>協会事務所における緑化相談（4件）</li> </ul>
識者派遣	静岡市景観審議会委員派遣
調査研究	壁面緑化モデル事業の実施に向けた技術検討会（11月）（モデル緑化壁面の基本構造、植栽基盤構造など）
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント開催時に「緑あふれる生垣づくり」「四季の花づくり」などの資料を配布して、みどり、花に関心や興味を抱かせ、緑化体験・緑化活動実践へのきっかけづくりを行いました。</li> </ul>



浜名湖フラー&ガーデンフェア2009緑化相談所



技術委員会が会員の皆さんと開いた意見交換会

公開したのがはじまりで、近年は、アマチュアバンドの演奏や、大道芸などのステージイベントのほか、地元物産品の販売なども行われ、期間中は7万人を超える来園者が熙わいます。

これを機会に読者の皆さんも「チューリップまつり」に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。きっと楽しいひと時が過ごせることがあります。

## 「花咲くしづおか」運動県民大会を開催しました

花と緑にあふれた美しい静岡県づくりを推進する「花咲くしづおか」運動の一環として、平成21年11月18日(水)にグランシップにおいて「花咲くしづおか」運動県民大会を開催しました。

県民大会では、「花咲くしづおか」花いっぱいコンクールの表彰式のほか、入賞写真の展示、表彰式の様子

最優秀賞受賞による事例発表、講演、フラワー・デモンストレーションなどを行いました。

講演では日本花の会 和田博

幸氏が「あなたの花でまちを飾ろう!」と題して、全国の事例を紹介していただきながら、地域らしさをいかした花のまちづくりの考え方や取り組み

方、花を使って生活に潤いや豊かさを与える町並みをつくる手法などのアドバイスをしていただきました。

参加者からは「今後の活動の参考になる」「今まで以上にがんばるうと思った」といった声が聞かれ大変好評でした。

フラワー・デモンストレーションで

表彰式の様子【学校の部最優秀賞「西伊豆町立賀茂幼稚園】



お正月の作品



久保田氏のフラワーデモンストレーション

## 中国視察研修団 来静

興味深く巡る

中国湖北省庭園商務団体  
(団長 武漢園林建築企画設計院書記 徐微波)ほか技術者  
6名)が11月19日、富士市岩淵(旧富士川町)にある「古鎌莊」(明治42年(1909)完成)を視察見学した。

来日の目的は日本庭園の建築設計、屋上緑化技術面での交流を目的としており、静岡では日本建築と庭園が一体化し

た施設の見学を希望している。県観光局からの依頼を受け、当協会は限られた時間内で適切な説明ができる施設を探し、一行の行程途中にある国的重要文化財である「古鎌莊」を紹介した。受け入れ側である「古鎌莊」の管理団体(財野間文化財団)との連絡調整には、この施設を熟知している(株)天野園芸の望月教彦氏にお願いした。



会場展示の様子

からの季節のフラワー・アレンジとしてクリスマスやお正月に向けた作品を短時間で作り上げ会場を飾かせました。

来年度の県民大会は平成22年11月4日(木)に開催予定です。

「花咲くしづおか」花いっぱいコンクールとあわせて皆様のご参加をお待ちしております。

一行は19日に東京を出て14時20分頃富士川ふれあいホールに到着。視聴覚施設で用意した「古箱荘」の歴史と概要を内容とするビデオで事前の知識を提供したのち現地に入る。

「古箱荘」はふれあいホールから県道を挟んで向かいの山手

側にある。

正面玄関にはすでに管理人

の三宅氏が待機しており、そ

こで一行は見学の挨拶もそこ

に、すぐさま施設の立地を説いておらず、普段は公開

正面玄間に向ける。見学の許可を頂き案内と説明を事前に依頼している。

さて、一行は見学の挨拶もそこ

に、すぐさま施設の立地を説いておらず、普段は公開

正面玄間に向ける。見学の許可を頂き案内と説明を事前に依頼している。

明するに恰好な隣接することを意図したと言われる。この日はあいにくの曇り空で絶景となる富士山の全容が見られなかつた。これは至極残念であった。

八角堂の西洋館はみごとな寄木細工の床張り、欧洲から輸入したと言われる壁紙、ズボランを通想させるシャンデリニアなどに一行は感嘆の声さえ出ない。80分があつという間に過ぎ去った。建築の説明をされた三宅氏に厚くお礼を述べて玄関を出る。その後、望月教彦氏に登場頗つた。月望氏はこの「古箱荘」の第二の管理人のアーティシアニアに一行は感心しきりであった。

特に接見の間として用いられたという104畳の大広間は、手入れの行き届いた室内をくまなく拝見させてもらつた。迷路のように入り組んで電気の廊下と部屋はすべて電気が点灯され、その時代の質を尽くした建築材と調度品が純く光り見渡せる。実際に贅沢な限り、かつ重厚さを感じさせる。

古い歴史を感じさせる、古の庭園の特徴を説明する望月教彦氏(右隣)が特徴のこの庭園は、この時期4時ともなると薄暗くなる。足早に回遊式の庭園を巡り、県道に接する入口の門に出た。一行は再びふれあいホールに戻り、「貴重な施設を拝見し、日本の建築と庭園がどういうものか少し分かったよ。」という気したとの感想でお話しを述べ、身支度を整えてマイクロバスに乗り込み浜松へと向かって行った。

園は、この時期4時ともなると薄暗くなる。足早に回遊式の庭園を巡り、県道に接する入口の門に出た。一行は再びふれあいホールに戻り、「貴重な施設を拝見し、日本の建築と庭園がどういうものか少し分かったよ。」という気したとの感想でお話しを述べ、身支度を整えてマイクロバスに乗り込み浜松へと向かって行った。

古箱荘の概要を説明する三宅氏と研修団一行

大広間北側の庭園



# 安全第一なによりも優先

## →掛川市シルバー労働安全講習会へ



労働安全講習会会場

繰り返し行われる建設労働災害防止キャンペーン。この年末始も「静岡年末年始無災害運動」を行っています。死亡災害〇(ゼロ)を目指すことは勿論、傷事故撲滅はみんなの願いです。転落・墜落事故が最も多発する建設業界で造園業もその例外ではなく、安全対策と安全意識の高揚は今後も続けていかなければなりません。

中で、掛川市シルバー人材センターから「労働安全講習会」の講師派遣の要請を受け、10月19日に実施したので報告します。

日頃、協会会員の皆様には労働死傷事故ゼロに向かって社内でのミーティングや安全パトロールの実施を支部ごとに着実に実施していることについて、敬意を表しているところです。

言うまでもなく造園業の作業環境は平坦な地形やのどかな庭園空間などばかりではなく、傾斜地や交通量が激しい道路沿線の厳しい環境が現場の実態です。それだけに、常に緊張感を持つて作業に就く必要があります。こと安全対策については協会のみ



ロープワークの技を披露する山本哲也氏

お願意しました。

朝9時から約1時間、センターの研修室で高所作業における安全対策を始めとして造園のない造園業のために努力しなければならないと考えます。

センターから要請された講習のポイントは、特に脚立を使用した剪定作業上の安全対策についてでした。講習時間は実習を含めて3時間。講師は地元に近い会員にお願いすることと

ならず業界や関連団体がこそつて真剣な取り組みをして事故のない造園業のために努力しなければならないと考えます。

- ◆特性  
難を軽減する積起の木とし  
て好まれる。冬日をうけ、つやとじして赤い実が美しい。魔除けの木として門前・玄関前手洗い近く、屋敷の戸門にあたる所などに植えられる。
- 常緑低木2~3m
- 半日陰の粘質、潤滑地を好み  
て育む。
- 移植容易
- 生長遅い
- 剪定嫌う
- 乾燥に弱い
- 大気汚染、潮風に強い

宝するロープを使って安全面でどう活用するか、初体験の参加者も多く、わが身の安全のため熱心にロープと格闘しておられました。

短い時間内での講習ではあります

が少しでも労働災害防止の一助となつものと確信しています。

## 新街の樹100選

### ■ナンテン(メギ科)



◆種類 本州(中部以西)・  
◆観賞 実(1月~2月)  
◆用途 庭園樹・特に和風。  
◆その他 キンランナンテン等多くの園芸品種がある

# 緑・花試験 終了しました!



問題にとりくむ受験会場

平成11年度にスタートした  
「緑・花文化の知識認定試験」  
は11月8日の第11回目を数えた  
試験を最後に幕が閉じられた。  
(財)公園緑地管理財団が主  
催してきたこの全国試験は子  
どもから大人まで植物名はも  
とより「植物の知識と植物に関  
する文化について、楽しく学ぶ  
きうかけづくりを目指して11月  
の第二日曜日に開催されてき  
た。静岡市会場ではこれまでに  
小学生から89歳の高齢者まで  
幅広い層の方々が受験されまし  
た。長い間、御要頼いただきあ  
りがとうございました。

は11月8日の第11回目を数えた  
試験を最後に幕が閉じられた。  
(財)公園緑地管理財団が主  
催してきたこの全国試験は子  
どもから大人まで植物名はも  
とより「植物の知識と植物に関  
する文化について、楽しく学ぶ  
きうかけづくりを目指して11月  
の第二日曜日に開催されてき  
た。静岡市会場ではこれまでに  
小学生から89歳の高齢者まで  
幅広い層の方々が受験されまし  
た。長い間、御要頼いただきあ  
りがとうございました。

(財)公園緑地管理財団では  
今後は、花みどり文化の普及事  
業の一環として、『花』や『緑』に  
親しむ機会を提供するインター  
ネットサイト「咲いとWEB」を  
始めるところです。

詳しくは

<http://www.midori-hanabunkai.jp> をご覧ください。

これからも植物のあれこれを  
お楽しみください。



## お知らせ

### 平成22年新年賀詞交歓会(社)静岡県造園緑化協会)

とき 平成22年1月15日(金)12:00~  
ところ 「クーポール会館」静岡市葵区  
内容 (予定)

- 被表彰者の顕彰
- 国交省大臣顕彰
- 静岡県知事褒賞
- 賀詞交歓及び懇談

### 第31回(社)静岡県造園緑化協会通常総会

とき 平成22年4月28日(水)13:30~  
ところ 「クーポール会館」静岡市葵区  
内容 (予定)

- 平成21年度事業報告・収支決算
- 平成22年度事業計画案・収支予算案
- 役員改選 等

## 協会日誌

年月日	行事又は会議
平成21年	
11月 5日	地域の生活と文化を守る静岡県建設産業の主張
11月 8日	緑・花文化の知識認定試験
11月 9日	シニアワーク造園緑化講習会(函南会場)開講式
11月10日	会報編集会議
11月13日	技術委員会・技術検討会
11月18日	「花咲くしづおか」運動県民大会
11月19日	中国湖北省庭園商務団体視察団受入れ
11月20日	静岡県景観賞受賞式
11月22日	都市緑化講演会
12月 3日	諸規定検討委員会
12月14日	第2回役員会
12月17日	技術委員会・技術検討会

# 話題の森

庭園芸術と園芸装飾技術の融合した新しい園芸文化

## 浜松モザイカルチャー世界博2009が閉幕 ～人と自然のシンフォニー～



平成21年9月19日から11月23日までの66日間の会期に861,325人の入場者を迎えて、成功裡に一大イベントが終えました。華々しい会場の舞台裏では長期間にわたる渾身の維持管理の格闘が繰り広げられていました。今回はその維持管理に大きな役割を果たされた天龍造園建設株の小林さんに御苦労の一端を紹介していただきました。



### 浜松モザイカルチャー世界博2009に携わり

天龍造園建設株式会社 小林 天竜

11月23日に日本で初めて開催された浜松モザイカルチャー世界博2009が目標を超える86万人以上のお客様にご来場いただき閉幕しました。本博に携わったものとしてほっとしているところです。

さて、本博を終えた中で今回はモザイカルチャーの維持管理についての感想を述べてみたいと思います。会期中は9割以上の作品を担当していましたので、毎日灌水・巡回・剪定・植替・防除班等に分かれて管理を行っていました。

なかでも大変だったのは、開幕からコンテストまでの約1ヶ月間です。開幕した9月下旬から10月上旬にかけては乾燥・害虫・成長との勝負。そして、10月上旬からコンテストまでの期間は植替・病気・台風が待っていました。

気温の高いスタートの頃は乾燥と害虫を見逃すとひと晩で作品が悪くなってしまうので油断ができませんでした。また、葉の成長が早いこの時期は、色合いの変化・植物の密度・作品のライン等を踏まえたうえでこまめに刈込みをしなければ作品のコンセプトからはずれてしまうため、慎重に管理を行いました。

10月上旬から下旬にかけては、長雨や台風18号の直撃をうけ(紙一重で作品に関しては倒木被害を受けませんでした)表面的には痛みはないように見えましたが、徐々に病気・害虫・強風による葉先の痛みや腐れが生じ、コンテスト前には少なくない量の植替えを余儀なくさせられました。

しかし、協会・ボランティア・園芸店・造園業者の皆様が一致団結して世界博の成功を目指したことにより、無事に成功できたと思います。

今後、浜松でモザイカルチャー文化が花開き、次回の第5回世界博(モントリオール)では浜松市出展作品が世界を驚かせるようになることを願っています。



平成22年1月1日発行

発行 社団法人 静岡県造園緑化協会 〒420-0031静岡市葵区吳服町2丁目2番地 吳服町ビル4F  
TEL 054-253-0586 FAX 054-251-9205 ホームページ <http://www.kenchikunavi.ne.jp/220304/> 編集 啓発労働委員会